

See-T Navi導入による 安全・エコ運転の実践を目指して

2010年7月16日
ヤマト運輸株式会社
CSR推進部長 藤口 英治

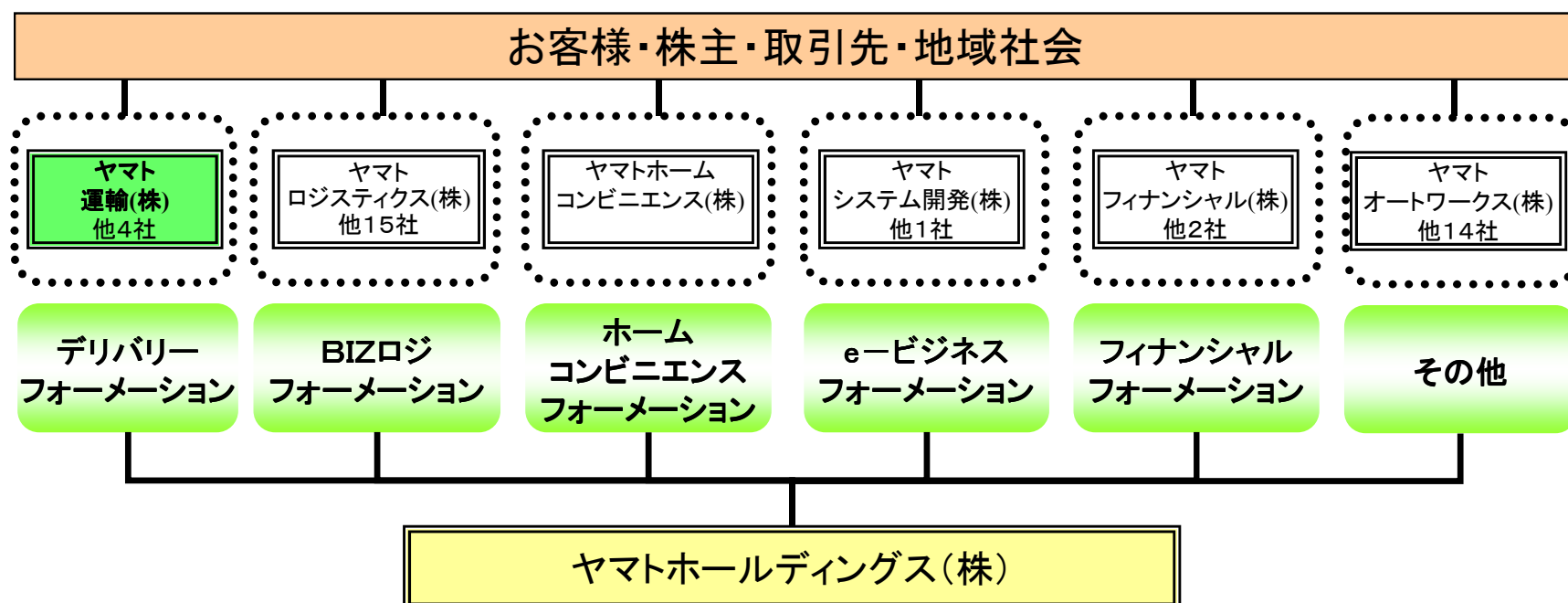
1. 会社紹介
2. ヤマト運輸の安全・環境への取組み
3. 安全・エコナビゲーションシステム
「See-T Navi」について

1. 会社紹介

会社概要

創 立	1919年11月29日(大正8年) ※2005年11月持株会社制に移行
社員数	136, 906人 (2010年4月現在)
事業内容	「宅急便」・「クロネコメール便」を中心とした小口貨物輸送サービス事業
事業所数	6, 258店 (2010年4月現在)
車両数	45, 764台 (2010年4月現在)
宅急便個数	12億6, 260万個 : 1日約346万個 (2009年度実績)
クロネコメール便冊数	22億6, 290万冊 : 1日約620万冊 (2009年度実績)
営業収入	デリバリー部門 9, 665億円 グループ全体 1兆2, 008億円 (2009年度実績)

現在の 経営体制



会社の沿革

「三越を中心とした区域事業の創業時代」

1919年(大 8) 大和運輸設立

1923年(大12) 三越呉服店の商品輸送契約



「路線事業と“輸送のデパート”の時代」

1929年(昭 4) 東京～横浜間で定期便開始

1951年(昭26) 航空代理店業開始

1958年(昭33) 美術品輸送梱包事業開始

「宅急便の開始と市場開発の時代」

1976年(昭51) 宅急便事業開始

1997年(平 9) 全国ネットワークの完成



「“新生ヤマト運輸”の時代」

2005年(平17) 持株会社制に移行 (ヤマトホールディングス設立)

2008年(平20) 満足創造3か年計画スタート

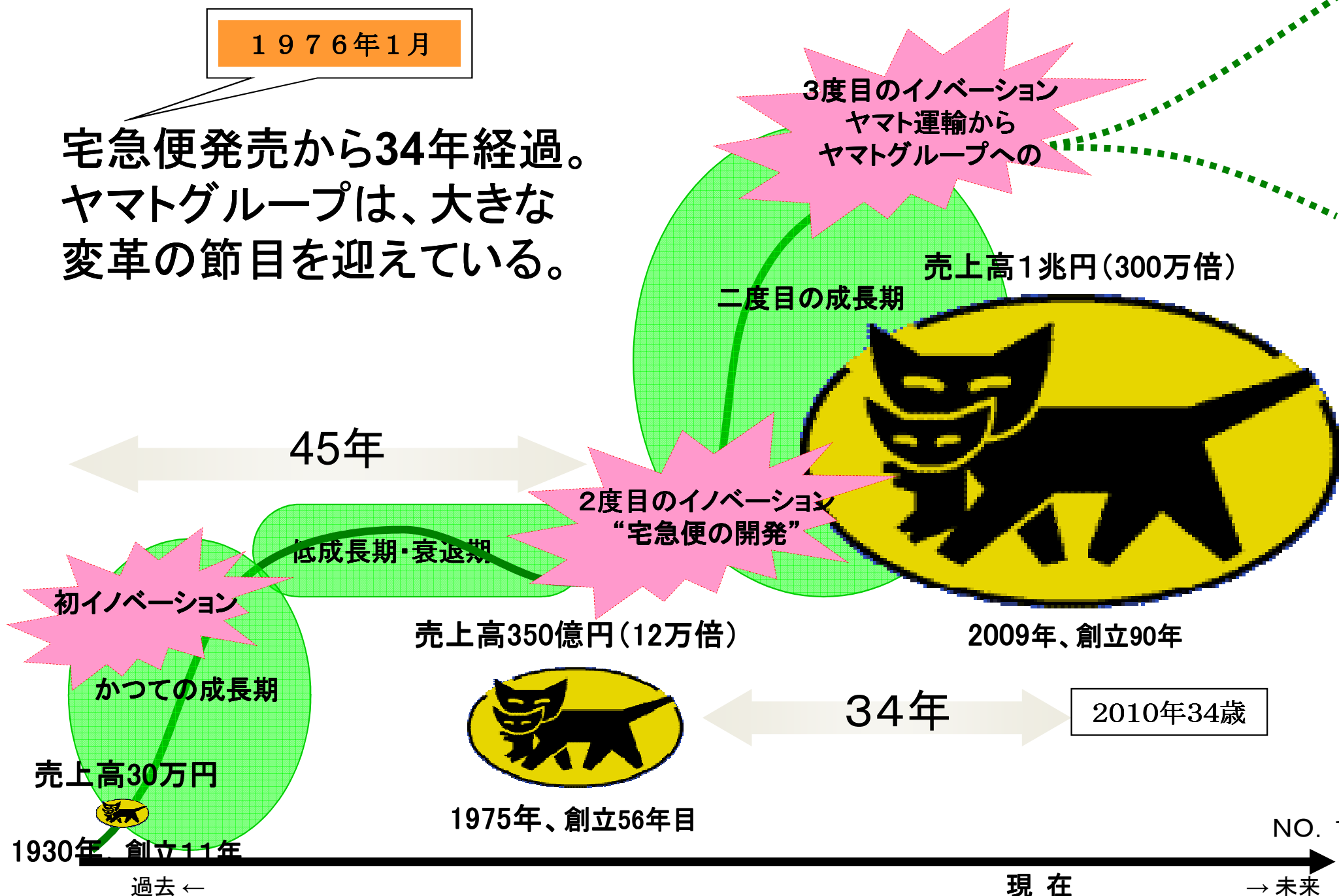
2009年(平21) バックオフィス業務を外部委託

2010年(平22) シンガポール・上海にて宅急便事業を開始

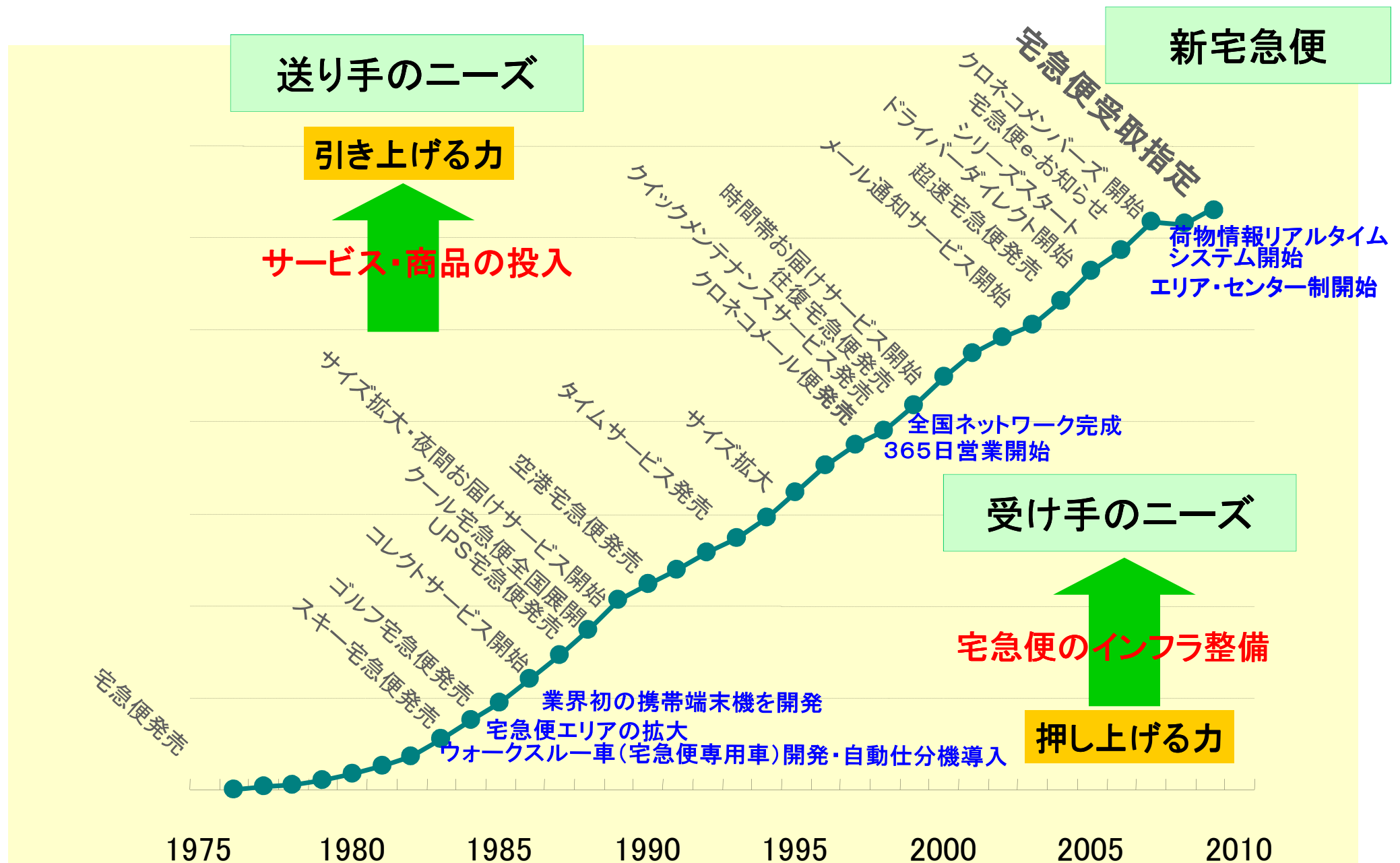
ヤマトホールディングス(株)(=ヤマト運輸)の成長の歴史

1976年1月

宅急便発売から34年経過。
ヤマトグループは、大きな
変革の節目を迎えている。



進化する宅急便



当社独自開発の車両（ウォークスルー）

「セールスドライバーにとって集配車は作業所であり、事務所であり、休憩室でもある」というコンセプトでトヨタ自動車(株)様と共同開発



ベニヤ製のウォークスルー試作品（昭和55年3月）



第1号ウォークスルー（昭和56年8月）

進化したウォークスルー

作業性・安全性及び地球環境にも配慮した新型ウォークスルー



新型ウォークスルー・ハイブリッド車外観



運転席



荷台

2. ヤマト運輸の安全・環境に対する取組み

「安全第一、営業第二」の基本理念

「安全第一、営業第二」ーそれがヤマト運輸の基本理念です。

(1) ヤマトグループ「企業姿勢」

〔人命の尊重〕

ヤマトグループは、人命の尊重を最優先し、常に安全の達成に努めます。

(2) ヤマト運輸「社員行動指針」

〔社会の一員としての役割〕

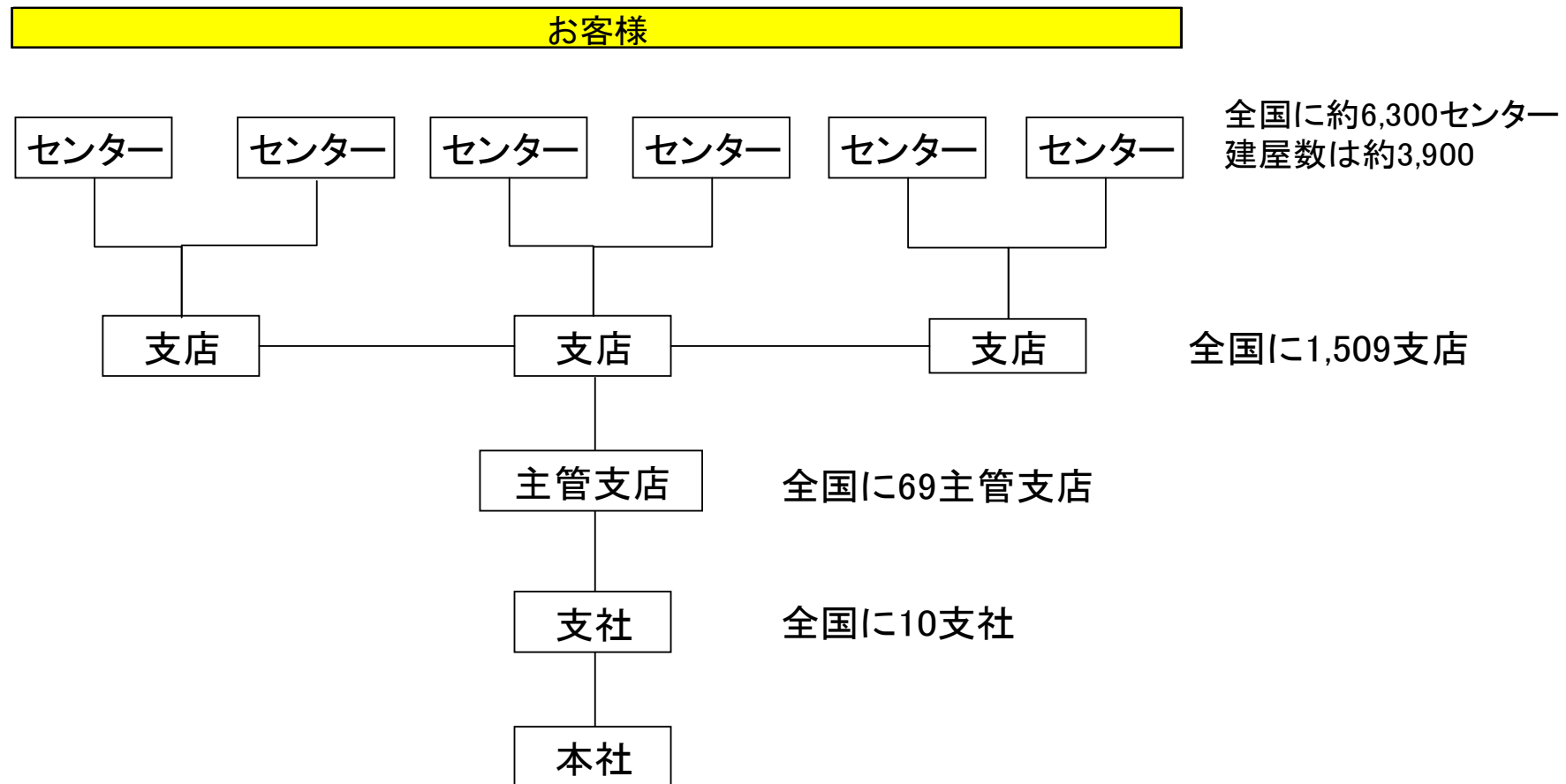
安全運転・安全作業の徹底

ヤマト運輸の仕事は、地域社会から信頼され、親しまれなければ成り立ちません。常に「安全第一」を考え、安全運転、安全作業を徹底し、なによりも人命の尊重を優先して考えます。また、公共の道路を使わせていただいていることを自覚し、地域の皆様にご迷惑をかけないよう心がける必要があります。

安全の歴史

年 代	1960年代	1970年代	1980年代	2003年	2004年	2006年	2008年	2009年
ヤマト運輸(株)安全の歴史	61年(S36)10月 運行管理規程制定	74年(S49)12月 安全指導員制度 3ブロック	80年(S55) 店所無事故表彰制度改定	4月 個人無事故表彰制度改正	4月 店所無事故表彰制度改正	12月 安全管理規程制定	4月 安全専門講師制度導入	10月 安全管理規程改定
	69年(S44)8月 個人無事故表彰制度導入 「安全第一、営業第二」宣言 69年(S44)3月 安全部新設	78年(S53) 個人無事故表彰制度改定 76年(S51)1月 宅急便商品化	82年(S57)7月 安全指導員主管支店単位配置 86年(S61) 副安全指導員制度導入					(安全指導長・安全専門講師追加)

当社の集配ネットワーク



※平成17年3月末をもって純粋
持株会社制に移行

※数値は平成21年6月15日現在

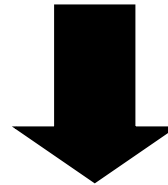
社員数 136,906人
運転者 約50,000人

車両数 45,764台
(内集配車32,000台)

安全指導長数 251名
安全専門講師 276名
安全専門講師数は重複者を含む

安全管理体制(安全指導長制度)

当社の安全戦略の基盤となっているのは、「安全指導長制度」です。安全指導長は、安全対策の専門職であり、すべての主管支店に配置され、セールスドライバーの安全教育を行います。



安全指導長制度を維持しつつ、さらなるレベルアップを図るため「安全専門講師制度」を導入しました。

【安全専門講師の責務】

	法令講師	実技指導講師	交通安全講師	安全衛生講師
責務	運行管理業務が日常的に行えるように担当者を育成する	基本の運転動作を確実に 行える運転者を育成する	適正な認知、判断が確実に 行える運転者を育成する	安全衛生業務が確実に 行えるように担当者を育成する

安全管理体制(安全指導長の任務)

【路上パトロール】



【添乗指導】



【集合研修】



【こども交通安全教室の企画・運営】



安全管理体制(安全専門講師)

【法令講師】



【実技指導講師】



【交通安全講師】



【安全衛生講師】

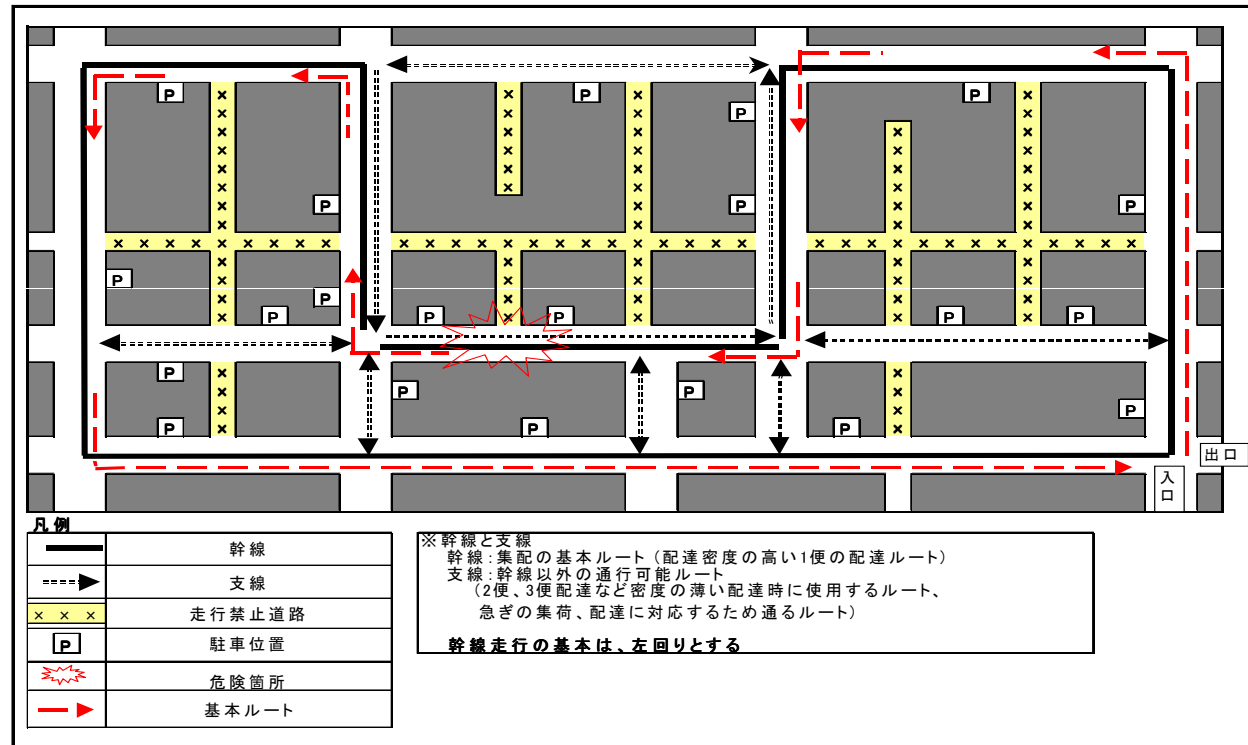


安全専門講師になるまで



輸送の安全を確保するための取り組み

「安全集配ルートマップ」の活用



【安全集配ルートマップの活用】

「安全集配ルートマップ」は、セールスドライバーがそれぞれの担当エリアの地図に、見通しの悪い交差点などの潜在的な危険箇所、安全面、効率を考慮した駐車位置、危険度の高い右折を少なくするルートなどを書き入れて作成します。ヤマト運輸株が取組むバス停方式の推進にも欠くことができない要素となります。

■ バス停方式



輸送の安全を確保するための取り組み

こども交通安全教室

ヤマト運輸(株)は子どもの交通事故防止を願い、地域の子どもたちに交通ルールや事故防止のための知識を伝えるため、1998年より全国各地で「こども交通安全教室」を実施しています。2009年度は、全国で1,500回開催し、約15万人が参加、累計で開催は15,000回を突破し、167万人の児童が参加しました。



道北主管支店での「こども交通安全教室」

環境への対応（地球温暖化防止への取り組み）

ヤマトグループは、環境問題への取り組みが人類共通の課題であると認識し、環境保護活動を自主的・積極的に推進します。
（ヤマトグループ「企業姿勢」）

「地球温暖化防止」への取り組み

車両台数の抑制



台車集配の様子

ハイブリッド車の導入



スリーター
（リヤカー付き電動自転車）

エコドライブの推進



ウォークスルー・ハイブリッド車



エコドライブ研修

ゴミ削減

送り状から包装資材、ユニフォームまで、リサイクルの可能性を追求しています。

環境への対応（環境教室）

＜クロネコヤマト環境教室＞

授業でも運輸・環境を学習する小学校5年～6年生を対象とし、社員が学校に出張して教室を開きます。

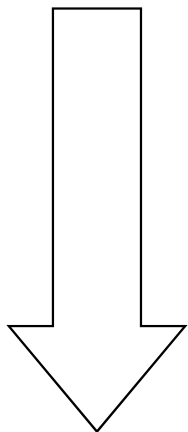


3. 安全・エコナビゲーションシステム 「See-T Navi(シーティーナビ)」について

「See-T Navi」開発のねらい

「運転の見える化」とやさしい運転を実現し、安全の確保とCO2排出量の削減を目指す。
さらに、ヤマト運輸の基幹システムとの融合が可能な将来構想を持ったものとする。

⇒「車載システム」の開発・導入へ



既存のデジタルタコグラフ

- 法定3要素(速度、時間、距離)の車両データを抽出できる
- ×メーカー各社により決まった仕様・アプリケーションになっている
- ×新しい機器の追加に対応するために、労力がかかる(多額の投資が必要)

必要な機能は、ソフトウェアの追加により容易に拡張が可能

ヤマト運輸独自の車載システム「See-T Navi」

- 法定3要素(速度、時間、距離)の車両データを抽出できる
- 当社の要望機能(安全面、環境面、サービス等)を組み込むことができる
仕様・アプリケーションが変更でき、管理帳票の変更などにも対応ができる
- 新しい機器の追加に、柔軟に対応できる

See-T Navi 開発のポイント

「運転の見える化」

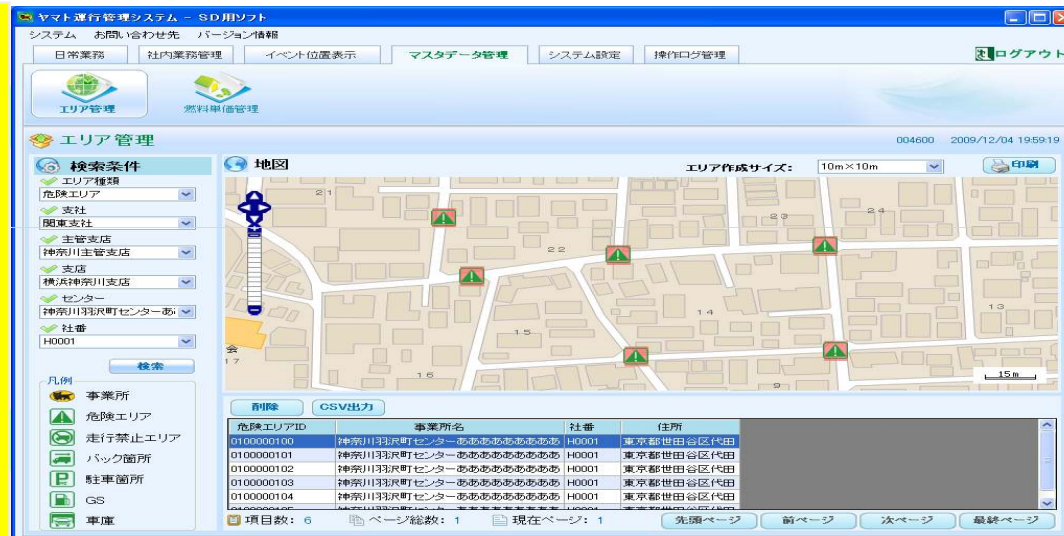
認知

判断

動作

急ぐ

SD
支援



危険箇所・走行禁止エリアを音声アナウンス。

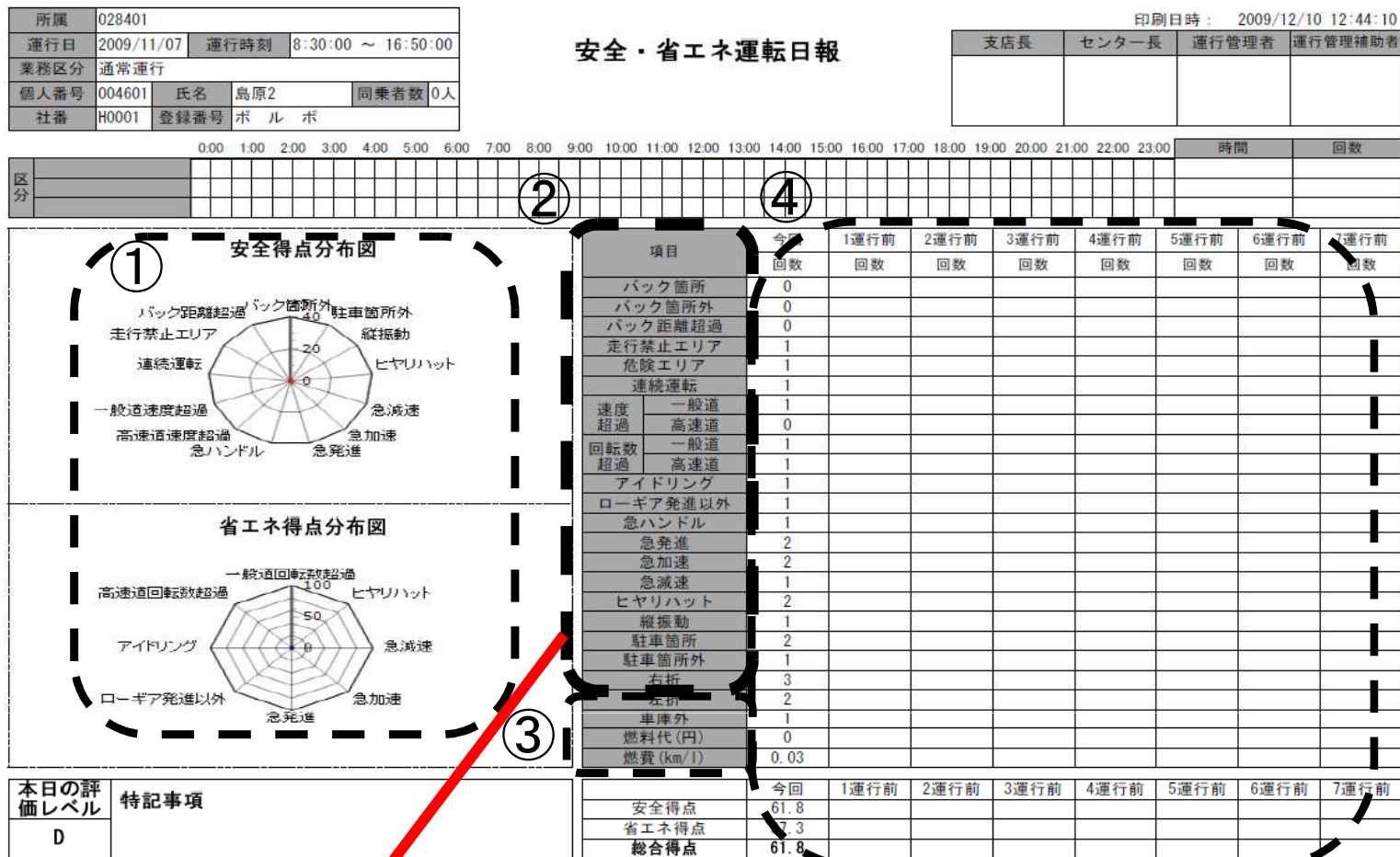


エンジン回転数・急減速等の音声アナウンス。平均燃費の表示。

安全・エコの促進

セールスドライバー用ソフトの主なポイント

「運転状況が自分で見える」



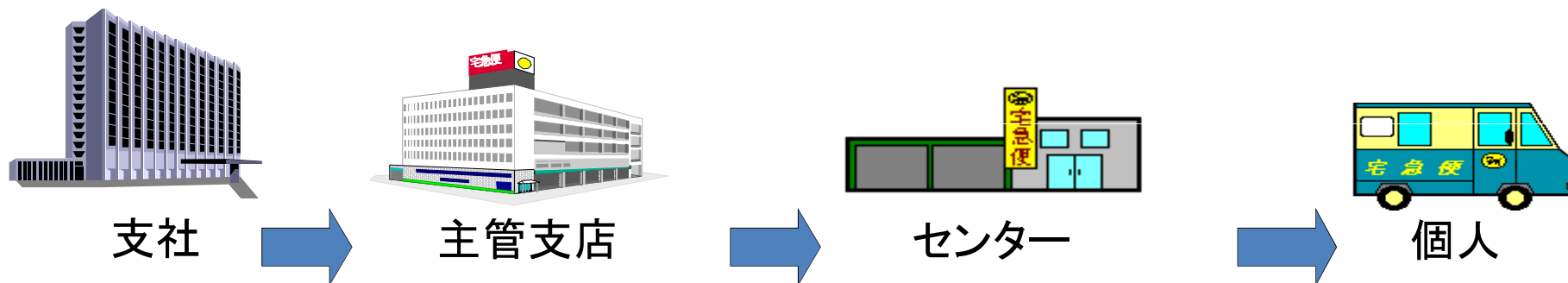
- ① 安全・省エネ点数
分布図の表示
- ② イベント回数の表示
- ③ 燃費・燃料代の表示
- ④ 7運行前の状況表示



管理用ソフトの主なポイント

「運転状況が事務所で見える」

① 組織別の状況確認が可能



管理者が管下店の前日状況を閲覧でき、どこが悪いのか事務所にいながら確認できる。

② 安全・省エネ状況確認

ヤマト運行管理システム - 管理用ソフト

システム お問い合わせ バージョン情報

評価カレンダー 社内業務管理 イベント位置表示 マスタデータ管理 システム設定 操作ログ管理 ログアウト

総合評価 燃費履歴 イベント履歴

総合評価 004200 2009/11/17 14:36:19

検索条件

日別 当月 月別

支社 主管支店 支店 センター

総合評価 安全評価 省エネ評価

2009年度 CSV出力 組織別省エネ評価月別状況表

事業所コード	事業所名	今年度評価	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
00B000	北海道支社	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	A	A	A
00B001	東京支社	A							A					
00B002	関東支社	B											B	
00B003	関西支社	C						A				B	G	B
00B004	四国支社	G										G	C	G
00B005	九州支社	C							A	A		E	E	E

項目数: 6 ページ総数: 1 現在ページ: 1 先頭ページ 前ページ 次ページ 最終ページ

③ 燃料代・車載機稼働状況の確認

ヤマト運行管理システム - 管理用ソフト

システム お問い合わせ バージョン情報

評価カレンダー 社内業務管理 イベント位置表示 マスタデータ管理 システム設定 操作ログ管理 ログアウト

燃費履歴 燃料代

燃費履歴 004200 2009/11/17 14:38:04

検索条件

日別 当月 月別

支社 主管支店 支店 センター

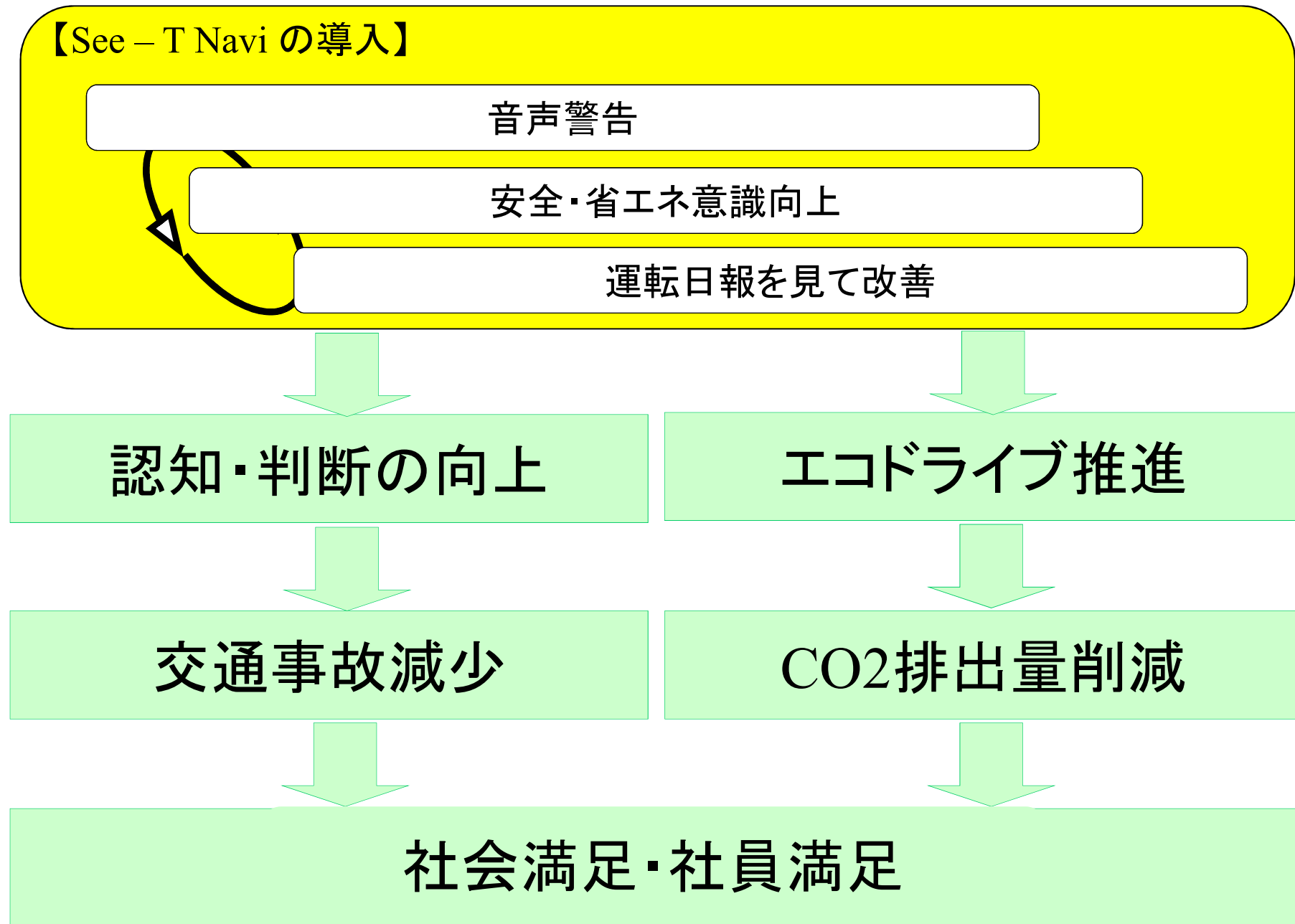
燃費 燃料代 車両別出力

2009年度 CSV出力 組織別燃費月別状況表

事業所コード	事業所名	今年度合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
00B000	北海道支社	1,808,400	51,930	711,035	54,130	41,050	54,535	443,825	263,975	46,090	45,025	34,775	33,075	26,985
00B001	東京支社	0						0						
00B002	関東支社	6,940												6,940
00B003	関西支社	19,612						19,612				0	0	0
00B004	四国支社	0										0	0	0
00B005	九州支社	5,855						5,000	0			855	0	0

項目数: 6 ページ総数: 1 現在ページ: 1 先頭ページ 前ページ 次ページ 最終ページ

See-T Navi導入の効果



将来のスケジュール

お客様満足

豊かな社会の実現

社員満足

次期中期計画

満足創造3か年計画

2013年度

2012年度

2011年度

宅急便の進化と新ビジネスの創出

集配車32,000台装着

集配車約26,000台

2010年度

2009年度

集配車約6,000台

交通事故防止

主な機能

1. 危険箇所警報
2. バック警報
3. 走行禁止エリア
4. 右左折走行
5. ヒヤリハット収集

エコドライブ

主な機能

1. 個人別保持^キロ
2. 個人別燃料費
3. アイドリング警告
4. 回転数警告

基幹システム、IT戦略

7次NEKOシステム



ポータブルポス
(PP)



プリンター



携帯電話

クロネコメンバーズ

フルデジタル化

See-T Navi

クロネコ メンバーズ
宅急便 受取指定



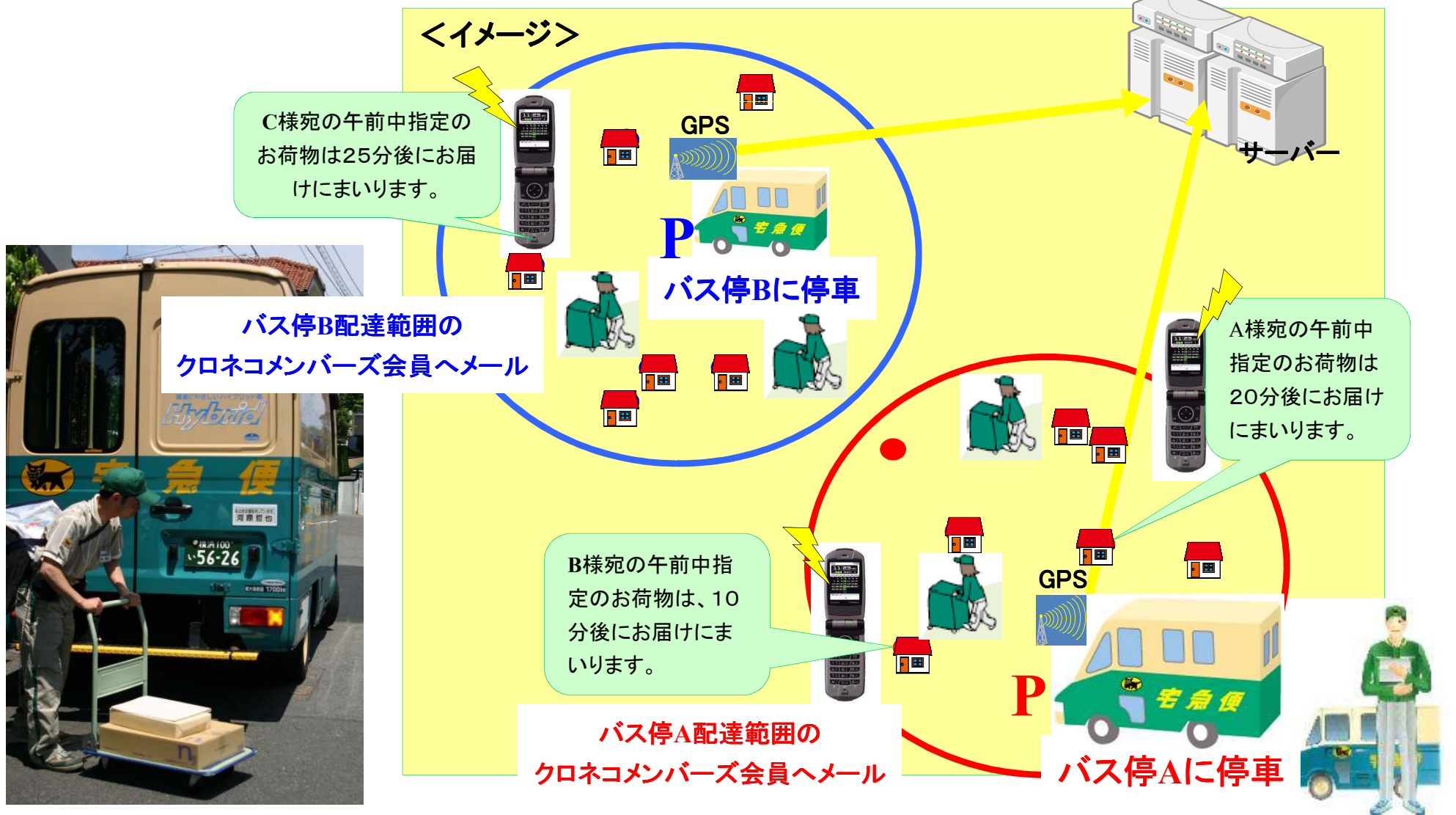
ネコビット



次世代NEKOシステムとの融合と将来性

たとえば・・・「次世代NEKOシステム」と連携し、
より詳細なお届け時間をお客様へ事前にお知らせ

集配車がバス停に停車したGPS情報を取得し、
クロネコメンバーズ会員へメール送付





ご静聴ありがとうございました